



# NEWS RELEASE

報道機関 各位

2022年1月26日  
学校法人 国際医療福祉大学

## 3回目ワクチン接種後の中和抗体価は、接種前の34倍。 “習慣的な飲酒”が抗体価上昇を妨げる可能性も。

国際医療福祉大学は、2021年11月から、学内のおよそ1,000人を調査対象に、新型コロナウイルスワクチンの効果に関する研究を開始しました。同年12月の3回目接種の開始に伴い、まず接種を受ける医療従事者ら187人を対象に、接種の前後の中和抗体価を比較評価しました。

### ■ ワクチンの効果を示す中和抗体価は、3回目ワクチン接種の前後で以下の変化を示しました

- ・ 3回目ワクチン接種後の全年代の平均中和抗体価は、接種前に対して34倍に増加した。
- ・ 高年齢層は接種前の値が相対的に低いが、接種後は50~90倍という大きな増加を示した。
- ・ 習慣的に飲酒をする者はそうでない者に比べ、接種後の抗体価が15%低く、習慣的な飲酒がワクチン接種後の抗体価上昇を妨げる要因である可能性が示された。

### ■ 高年齢層に一層高い3回目のワクチン接種効果

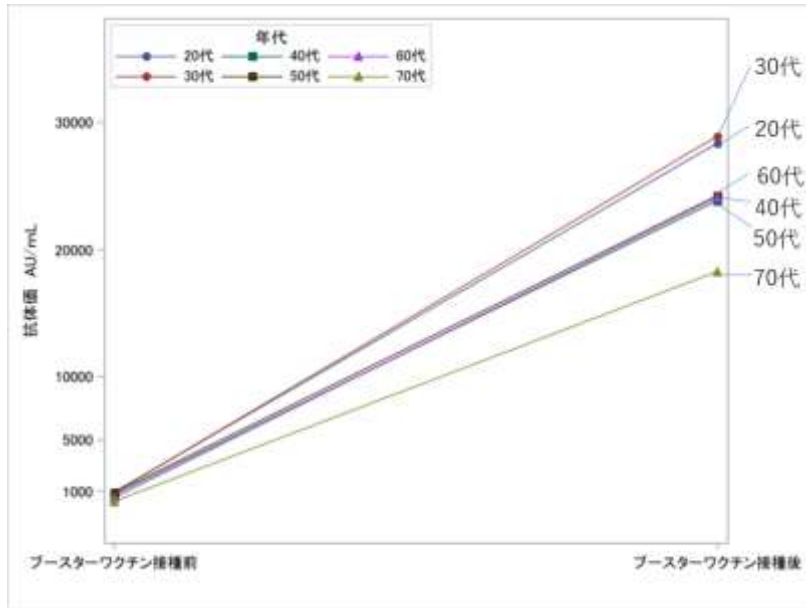
3回目のワクチン接種を行う21歳から77歳までの男女計187人の調査対象に対し、その前後の中和抗体価を比較評価しました=表1・2。その結果、中和抗体価の全年代の平均値は、ワクチン接種前に対して接種後には、34倍に増加しました。

年代別では、接種後の抗体価は若年齢層の方がより高い値を示しました。しかし、接種前の抗体価は、70代の接種前の値は若年齢層の3分の1以下であるなど高年齢層がより低く、抗体価平均値の前後比では、60代では50倍、70代では90倍と、高年齢層に一層高い3回目のワクチン接種効果がみられました=表1・2。

<表1> 年代別平均抗体価とワクチン接種前後の比較

		接種前の抗体価平均値 (2回目接種後7~9ヶ月経過)	接種後の抗体価平均値 (3回目接種後2~3週間)	前後比
全年代	187人	755	25334	約34倍
20~30代	65人	907	28599	約32倍
40~50代	84人	794	24054	約30倍
60代	28人	481	24115	約50倍
70代	10人	202	18282	約90倍

<表 2> 年代別平均抗体価とワクチン接種前後の比較



※「中和抗体」：人体内で作られる様々な抗体のうち、ウイルスによる感染、発症、重症化を防ぐ抗体。

■“習慣的な飲酒”は、ワクチン接種後の抗体価上昇を妨げる可能性

ワクチン接種後の抗体価に影響を与える可能性がある要素としては、“飲酒”と“喫煙”があげられます。飲酒に関しては、調査参加者全員へのアンケート結果から、“習慣的に飲酒する”者は、そうでない者に比べて3回目のワクチン接種後の抗体価が15%低く、“習慣的な飲酒”がワクチン接種後の抗体価上昇を妨げる可能性が示されました。

喫煙者が非喫煙者よりも抗体価が低い傾向も同時に確認されましたが、“習慣的な飲酒”に比べるとその影響は小さいものでした。ワクチン接種後の抗体価に、男女差はありませんでした。本学は、この後も、定期的に新型コロナワクチン接種者の追跡調査を実施してまいります。

調査概要

- 対象者：2021年3月から5月の期間に2回ワクチン接種を行った病院職員  
国際医療福祉大学の関連病院職員 187人
- 年齢：平均45歳(21~77歳)
- 性別：女性94人、男性93人
- 職種：医療従事者158人、事務職員29人
- 方法：3回目のワクチン接種を行い、その前後の血清中和抗体価を比較評価する
  - 2021年12月中旬以降に初回抗体価測定とブースターワクチン接種を実施
  - 2022年1月初旬(ワクチン接種2~3週間後)にワクチン接種後の抗体価を測定

■本件についてのお問い合わせ先■

国際医療福祉大学 未来研究支援センター准教授 藤田 烈

東京都港区赤坂 4-1-26 / 広報部

TEL : 03-5574-3828 / FAX : 03-5574-3827 / E-mail: press@iuhw.ac.jp